

平成31年3月18日

教育委員会事務局 文化財課

担当：小坂、安

内線：5634、5625

直 通 225-1844

国の文化財の登録について

平成31年3月18日（月）に開催された国の「文化審議会」（会長 佐藤信）において、文部科学大臣から諮問のあった別紙の文化財の登録が審議され、答申された。今回の答申どおり別紙の建造物が登録されれば県内の国登録有形文化財は270件となる。

(別紙)

件数	名称 (員数)	所在地	構造、形式	建築面積	所有者	建築年代
1	かなざわまちやけんろく 金沢町家兼六 (1棟)	金沢市昭和町 224	木造二階建、瓦葺及 び金属板葺、背面物 置付	48 m ²	合同会社小西事務所	明治 21 年 (1888) / 昭和 13 年改修
2	かわかみようちえんえんしゃ 川上幼稚園園舎 (1棟)	金沢市幸町 378 他	木造二階建、瓦葺	299 m ²	学校法人川上幼稚園	大正 7 年 (1918) 頃/昭和 40 年頃・平 成 23 年改修
3	こまつしりつにしきがまてんじかんしゅおく 小松市立錦窯展示館主屋 (1棟)	小松市大文字町 95-2 他	木造二階建、瓦葺	92 m ²	小松市	昭和 8 年/平成 10 年 改修
4	こまつしりつにしきがまてんじかまなや 小松市立錦窯展示館窯納屋 (1棟)		木造二階建、瓦葺	38 m ²		昭和 8 年/平成 10 年 改修
5	こまつしりつにしきがまてんじかんいしぐら 小松市立錦窯展示館石蔵 (1棟)		石造平屋建、瓦葺	9.6 m ²		昭和 40 年/平成 10 年改修
6	きゅうくだりけじゅうたくしゅおく 旧下里家住宅主屋 (1棟)	小松市大杉町寅 110	木造二階建、瓦葺	215 m ²	小松市	江戸末期頃/明治 36 年 (1903) 改修
7	やべつていきつしょうあん まつ家別邸吉 祥庵 きゅうこめたにぎんこうあたかしてん (旧米谷銀行安宅支店) (1棟)	小松市安宅町ワ 32 甲他	木造平屋建、瓦葺	168 m ²	森 泰洋	明治 24 年 (1891) / 明治 26 年 (1893) ・平成元年改修

金沢町家兼六

(かなざわまちやけんろく)

概要

金沢の市街地と港を結ぶ金石街道沿いに建つ町家である。明治期の和風町家の正面を昭和13年にモルタル外壁で覆い、洋風意匠とした看板建築^{*1}であり、昭和初期の趣向を今に伝え貴重である。



位置図



川上幼稚園園舎

(かわかみようちえんえんしゃ)

概 要

金沢市街地南部に位置する現役の幼稚園園舎である。アメリカ人建築家ヴォーリズ^{※2}の設計による洋風建築で、大正7年（1918）頃に建てられた。トラス構造^{※3}の採用や採光への配慮により、明るく快適な屋内空間を実現している。ヴォーリズ建築としては全国でも数少ない幼稚園園舎であり、貴重である。



位置図



小松市立錦窯展示館/主屋・窯納屋・石蔵
(こまつしりつにしきがまてんじかん/しゅおく・かまなや・いしぐら)

概 要

小松の市街地にある九谷焼の陶工・徳田八十吉の旧居兼陶房であり、平成11年から展示館として活用されている。敷地には初代から三代までが生活と絵付に勤しんだ主屋、錦窯^{*4}を備える窯納屋、作品を収納した石蔵などが残る。名工の暮らしぶりを今に伝え、貴重である。



位置図



旧下里家住宅主屋

(きゅうくだりけじゅうたくしゅおく)

概要

小松市南部の山村集落に建てられた農家住宅である。天井を張らずに太い梁を見せる広間やその奥の4室の座敷など、加賀地方の江戸時代末期の上層農家の形式をよく伝え、貴重である。



位置図



まつ家別邸吉祥庵（旧米谷銀行安宅支店）

（まつやべっていきっしょうあん きゅうこめたにぎんこうあたかしてん）

概 要

小松市の北部、梯川河口の安宅町に位置する近代和風建築である。明治 24 年（1891）に北前船主であった米谷半平家が別邸として建て、後に銀行として使用された。外観の出格子や下見板張りなど創建時の特徴をよく残しており、貴重である。



位置図



(用語解説)

<金沢町家兼六>

※1 看板建築

関東大震災後の復興期頃から見られる店舗兼住宅の一形式。木造2、3階建の建物で、その正面だけを銅板やモルタル、タイルなどの耐火素材で覆い、装飾した町家のこと。

<川上幼稚園園舎>

※2 ヴォーリズ

本名ウィリアム・メレル・ヴォーリズ。アメリカ人建築家。明治38年(1905)に来日し、中部・近畿地方を中心に住宅建築、教会建築、学校建築など、1,000件を超える西洋建築作品を手掛けた。プロテスタント信徒であり、建物を通じて人々の心にキリスト教の精神を伝えたとされる。

※3 トラス構造

部材を三角形に組み合わせ、各接点を単接合する骨組(トラス)を用いて構成される構造様式。

<小松市立錦窯展示館/主屋・窯納屋・石蔵>

※4 錦窯

陶磁器の上絵付けに用いる窯。火が直接作品に触れないよう、二重構造となっている。